

2020 たより

vol.
03

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ニュースレター

▶なるほど組織委員会

「レガシー」に関わるFAをご紹介します

▶行って見た! やってみた!

東京2020大会追加競技「空手」をやってみた!

▶パラリンピックを満員にしたいんだ委員会

リオ2016パラリンピック
「メダリスト×パフォーマー」対談

▶Pick UP! News

ますます盛り上がる
フラッグツアーに参加しよう! ほか

巻頭特集

教えて!
東京2020参画
プログラム



日本各地で
ゾクゾク開催!

東京2020 参画プログラム

テーマ
教育



テーマ「街づくり」日本橋シテイドレッシング for TOKYO 2020(三井不動産(株))



テーマ「復興」郡山市立行健中学校におけるオリンピック・パラリンピックに関するポスター制作授業公開

高校生が東京2020大会に向けた動画を制作

KWN 高校生向け特別ワークショップ Sharing The Dream 2020

2016年11月24日(木)
東京都立青井高等学校



ワールドワイドオリンピックパートナーであるパナソニック(株)のカメラ機材を提供し、動画制作ノウハウを学生たちにレクチャーする特別ワークショップ。学生たちは「東京2020大会に向けて」をテーマに講師の指導のもと、約30秒の映像メッセージを制作していきます。動画制作を通じてオリンピック・パラリンピックの歴史、魅力、関わり方などについても学んでいく教育プログラムです。



参加者の声



2年生 君島さん

脚本作りなど、動画制作のノウハウも勉強になりました。2020年は大学生になっているので、ボランティアなどに関わりたいと考えるようになりました。

東京で開かれるオリンピックがテーマだったので、本当に開催されるんだということを身近に実感しながら映像制作に取組むことができました。



3年生 堂園さん

プログラム実施にあたっての想い

学生の皆さんがこのワークショップを通じて、東京2020大会にどう関わっていくのかを主体的に考え、気づくことができる場にしていきたいと思います。制作した映像メッセージはずっと残るもの。次世代へのレガシーとなる点も魅力です。今後は1校1国の応援スタイルで映像メッセージを制作し、さらに相互理解を深めるプログラムに育てていきます。



パナソニック(株) 熊沢さん 講師 今井さん KWN事務局担当 横尾さん



教えて!

東京2020 参画プログラム

私が
お答えします!



組織委員会 企画財務局
北さん

Q そもそも東京2020
参画プログラムってなに？

A 日本全国の人々を巻き込み、東京2020大会に向けた
機運を盛り上げ、大会を契機としたレガシーの創出の
ために開始されたプログラムです。オリンピック・パラ
リンピックといえばスポーツを思い浮かべるかもしれ
ませんが、様々な分野のイベント・事業が全国で展開
されています。※1

Q 参画プログラムにどんな想いを
込めていますか？

A 参画プログラムを通じて、多くの人に東京2020
大会に関わりたいという想いを持ってもらいたいです。
大会後には日本全国のみならず達成感を味わえるような
プログラムにしていきたいですね。

Q 参画プログラムにエントリー
するにはどうしたら良いの？

A 組織委員会のガイドラインに沿って、皆さんが
考える事業やイベントを申請していただくことにな
ります(組織委員会の公式サイトに申請の方法を掲
載中)。また、コールセンター(057010016620)でもご
質問を受け付けていますので、お問い合わせいただけ
ると嬉しいです。

※1 参画プログラムには、スポーツ・健康、街づくり、持続可能性、
文化、教育、経済・テクノロジー、復興、オールジャパン・世界への発信の8分野があります。
2017年1月4日現在、248のプログラムが全国で実施されています。(予定含む)

参画プログラムの
詳細はこちら!

東京2020参画プログラム で検索
<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/certification/>



出会った瞬間、心がざわめくアート展を開催

ザワメキアート展 信州の障がいのある人の表現とアール・ブリュット

2016年12月8日(木)
長野県ホクト文化ホール

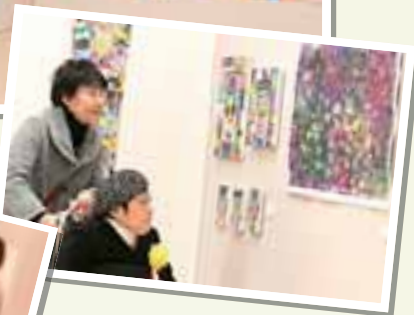


東京2020大会に向けて初開催となる「ザワメキアート展」。障がいのある
方が生み出す作品を集めた公募展です。個性と可能性にあふれ、アート
としての底力を持った作品の数々を通して、障がいのある方に目を
向けてもらうことを目的としています。

プログラム実施にあたっての想い

長野1998冬季大会の際、長野県では障がい者アートを集めた
世界規模の芸術文化祭が開催されました。以降、県内の障がい
のある方のアート作品展が美術館や障がい者施設などで毎年開催
されています。東京2020大会に向け、今回の作品展を開催
することで、アートを通じて障がいのある方への
理解をより深めてもらい、共生社会の実現を
目指したいと思っています。

長野県健康福祉部
野村さん



組織委員会主催の

「東京2020アイディアソンVol.1」を2016年11月27日(日)に開催

第1回となる今回の東京2020アイディアソン ためのアイデアを競い合いました。組織委
員会では「パラリンピックをテクノロジーで盛り上
げよう」をテーマに、全国から33名の学生が
参加し、車椅子バスケットボールの観戦を楽しむ
プログラムを実施していく予定です。

今回は、昨今ニュースや新聞でよく目にする東京2020大会のキーワード「レガシー」に関わるFA*をご紹介いたします!

なるほど 組織委員会

3

レガシーってこういうこと

レガシーとは、大会を通じて未来の世代に引き継ぐものです。例えば、障がいのある人もない人も誰もがスポーツを楽しめる社会や、大会がもたらす大きな感動がいつまでも人々の記憶に残るといった心に残るような心のレガシーも考えられます。

東京2020大会のレガシーを残すために レガシーFAは、こんなことに取り組んでいます。

- ・東京2020組織委員会の各FAと協力して、東京2020大会が目指すべきレガシーを検討
- ・開催都市東京都や政府、地方自治体、大会公式パートナー、JOC*1、JPC*2などと連携して、「アクション&レガシープラン2016」を策定
- ・日本全国の人々とつながり、レガシー創出を目指す「参画プログラム」を展開(本紙巻頭特集をご覧ください。)

詳細はこちら!

2020 レガシー

で検索

レガシーFA
天沼さん

<https://tokyo2020.jp/jp/games/legacy/>



東京2020組織委員会はFA(ファンクショナル・エリア)という機能別のチームに分かれて東京2020大会に向け運営準備をしています。現在、組織委員会のFAは52チームに分かれています。

組織委員会では、例えばこれらのFAが、こんなレガシーの創出を目指しています。

持続可能性 FA

持続可能性(サステナビリティ)FAは、東京2020大会が持続可能性に配慮した大会となるようサポートするFAです。大会の準備や運営に関して、環境・社会・経済の三つの観点から、大会運営のことだけではなく大会終了後も踏まえ、組織委員会として大会準備にあたり、今何をすべきかを考えます。例えば、後利用をはじめとした3R(リデュース・リユース・リサイクル)を踏まえた資材・物品の調達などの推進、海外の製造工場で見学などが行われていないか目配りします。

私たちは、このような取り組みを通じて持続可能性という観点からも東京2020大会を成功させ、東京だけでなく日本、世界が持続可能な社会になることを目指します。「持続可能性に配慮した運営計画 第一版」を近日公開予定です。ぜひご覧ください。



持続可能性FA 佐橋さん 中川さん

リオ2016大会ではこんな取り組みも!

ラゴアスタジアムでは、野鳥を保護しスタジアム周辺の環境を持続させることもFA業務の一つでした。なんと!鳥たちに、大会職員証まで発行していました。



詳細はこちら!

2020 持続可能性

で検索

<https://tokyo2020.jp/jp/games/sustainability/>

パラリンピックインテグレーション FA

パラリンピックインテグレーションFAは、大会会場やサービスに適切なアクセシビリティが確保されるようにサポートするFAです。アクセシビリティの確保のためには、障がいのある人となない人との意識の壁=「心のバリア」を取り除く必要があります。

「心のバリアフリー」に向けた取り組みの一つとして、障がいのある人やお年寄りなどに大会時にどのように接するかをまとめた「アクセシビリティ サポートガイド基礎編」を作成しました。下記のページで公開していますので、ご覧ください。

私たちは、心のバリアフリーが公共交通や観光業界など様々な業界団体に浸透し、大会終了後の社会全体に広がることを期待しています。



パラリンピックインテグレーションFA 澤木さん 犬島さん

【誘導の基本姿勢】

- ・横半歩前に立ちます。
- ・クライアントに肘か肩をつかんでもらいます。
- ・横半歩前をクライアントのペースに合わせて歩きます。曲がる地点など状況が変化する場所ではその都度伝えます。

「アクセシビリティ サポートガイド基礎編」より

※出典：一般財団法人国土技術研究センター



詳細はこちら!

2020 アクセシビリティ

で検索

<https://tokyo2020.jp/jp/organising-committee/accessibility/>

前回の東京1964大会にも、現在に続くレガシーがありました。

東京1964大会は、その後の日本のスポーツ振興に大きなレガシーを残しました。例えば、サッカーなどの実業団チームが誕生したり、「東洋の魔女」の活躍に影響を受けて全国でママさんバレーが普及したりしました。また、今では至る所で目に

するピクトグラムの普及やホテルのユニットバスの誕生も、東京1964大会のレガシーと言われていています。このような大会後も残り続けるレガシーの創出を目指して、東京2020組織委員会一丸となって大会準備に取り組んでいます!



オリンピックの記念文化事業として設立された東京都交響楽団も、東京1964大会のレガシーです。写真提供：東京都交響楽団

* FA : 東京2020大会に向け運営準備をしている機能別のチーム
*1 JOC : 日本オリンピック委員会 *2 JPC : 日本パラリンピック委員会

競技会場予定地の今をお伝えする行って見た!と
大会競技を体験してみるやってみた!

東京2020
職員が

行って見た! やってみた!

今回は、
帝京高校 女子空手部に
お邪魔しました!

第3回は **空手** をやってみた!

空手とは?

- 東京2020オリンピックで追加が決定した5競技のうちの一つ
- 東京2020オリンピックでは対戦形式でポイントを競う「組手」と、順に指定された形を演武し、技の美しさ力強さを競う「形」が行われる

「組手」と「形」の特徴

組手 スピード感ある一瞬の攻防が魅力!



練習では安全のため、頭部防具を着用しています。

- ・1対1の対戦形式
- ・男女それぞれ体重別の3階級制
- ・部位、技ごとにポイントが定められ、時間内に取得したポイントの多さを競う
- ・攻撃は基本寸止め
- ・攻撃する技はコントロールされたものでなければならない

形(かた) 息をのむ美しさと迫力!



- ・2人の選手が交互に演武する
- ・技の質(スピード・キレ)、「形」の持つ意味の理解、リズム・バランスなどを審査員が採点

▼▼▼ 今回は組手をやってみた! ▼▼▼

ウォーミングアップ

実戦を想定した練習

いよいよ実戦



基本となる「形」の練習!



グローブを装着!
ちょっとサマになった?



いよいよ
1対1で対戦!

コツがつかめてきた!



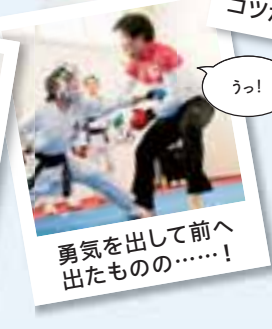
ウォーミングアップ
なのに結構ハード!



おへその下10cmを
意識して突く!



出るのか、引くのか
一瞬で判断!



勇気を出して前へ
出たものの……!

うっ!

終了!
お疲れサマ
でした

やってみた!



あやみん

グローブをつけると自然に
闘志が湧き上がってきました!
またやってみたい!



けんちゃん

「組手」のスピード感に、
ビックリ!全く動きについ
ていきませんでした。楽し
めました!
足が…イタタ…。



ともちゃん

「組手」は、身体的な強さ
だけではなく闘志も重要
で、心も鍛えられると感じ
ました。

応援しよう!

観戦のポイント

Point 1

声や音から伝わる気迫は迫力満点。
選手同士の間合いに存在する独特の緊張感も見どころ。

Point 2

流派によって立ち方や構えなどの動きが異なる「形」。
こうした違いや「形」の美しさに注目するのも楽しみの一つ。

東京2020大会で初開催! //

オリンピックで初開催される「空手」。世界大会では
日本選手が多数活躍しており、どんな盛り上がりを見せるのか楽しみです。

詳細はこちら!

全日本空手道 🔍 で検索
<http://www.jkf.ne.jp/>

豆知識... 空手は全身のあらゆる部位を使って、攻撃相手から身を守ることを目的として創始されました。攻撃が目的ではないんですね。

東京
2020

パラリンピックを 満員にしたいんだ 委員会 Vol.2

対談インタビュー

脳性まひのアスリートと盲目のパフォーマー
リオのパラリンピックで活躍されたお二人に
東京2020大会への想いをお聞きました



リオ2016パラリンピック
ボッチャ団体銀メダリスト

杉村 英孝 × 檜山 晃

リオ2016パラリンピック
フラッグハンドオーバー
セレモニーパフォーマー

式典に関わることで
パラリンピックに出るとい
う方法もあったんだなって
(檜山)

—お二人は選手とパフォーマーという異なる立場でリオ2016パラリンピックに出られましたが、率直な感想はいかがでしたか？

杉村 僕はロンドンに続いて2度目の出場でした。4年前は世界との実力の差を突きつけられ、とても悔しい思いをしました。

—その結果が銀メダル。しかも準決勝の相手は、ロンドンで敗れたポルトガルでした。

檜山 リベンジだったわけですね。

杉村 そうです。ロンドンで負けた瞬間からリオでは絶対に勝つんだという気持ちで取組んできたので、成長を実感しました。

—檜山さんは閉会式に出演されましたよね。

檜山 まず、あの場に呼んでもらえたことが驚きでした。式典に関わることで、パラリンピックに出るという方法もあったんだなって。昔からスポーツは好きだったのですが、極めることはできなくて…。杉村さんはどうしてボッチャを？

杉村 僕もスポーツが好きでしたが、障がい重いので、激しいスポーツはできないんです。その中で紹介してもらったのがボッチャ。シンプルなルールが自分に合っていましたし、頭を使って考えるのが好きなので、自分を表現できるスポーツだと感じました。

檜山 運命の出会いですね。

杉村 ボッチャと出会ってなければ、こういう生活を送っていたのか。考えると、ちょっと怖くなります。檜山さんにも運命の出会いってあったんですか？

檜山 本業とする暗闇を体感するワークシヨップとの出会いでしょうか。それまで僕は、目の見える人よりも自分の方が劣っているように感じていました。でも、暗闇に入ったとたん、目が見える人が何にもできなくなる。それにすくくびっくりしたんです。条件や環境で人の強みや立場は変わるのだ、ということを知りました。

応援ってすくく力になるし
会場の雰囲気って
とても大切
(杉村)

—杉村さんは様々な国で試合をされてきたと思いますが、リオの雰囲気はいかがでしたか？

杉村 ボッチャの会場は、満員の観客が足を踏み鳴らし響かせる、まるで



サッカーみたいな応援で盛り上がりつつありました。ボッチャって静かに見なくてはいけない競技というイメージを皆さん持たれていると思うんですけど、そんなのお構いなし(笑)。

—熱狂的ですね(笑)。

杉村 観客が会場全体を盛り上げてくれました。選手を盛り上げるというよりは、スポーツそのものや大会の雰囲気を観客自身が楽しむ、という感じの盛り上がり方でしたね。

檜山 そういうポジティブな雰囲気のなかで試合ができるっていいですよ。

杉村 はい。逆に観客が少ない試合はどこか物足りなさを感じてしまつて…。やっぱり応援ってすくく力になるし、会場の雰囲気ってとても大切なんだなと実感しました。大歓声の中で戦いたいなと思いましたが、そういう点では、閉会式も観客の応援とかすくかたつたんじゃないですか？

檜山 実を言うと、密閉性のあるイヤホンをしていたので、全然歓声が聞こえなかつたんですよ(笑)。



杉村 そうだったんですか!?

榎山 そうなんです。でも会場の大きさ、選手や観客の熱気といったダイナミックさは感じていましたよ。

杉村 緊張しなかったですか?

榎山 セレモニー自体には何の不安もなかったです。いいものをやろうという気持ちでチーム全員が臨んでいましたから。失敗はできないというプレッシャーはありましたが、大勢の観客に向けて頑張らなくてはと思いました。

障がいのある人生そのものがスポーツに思える (榎山)

—最後に2020年に向けたお二人の想いを教えてくださいませんか?

杉村 まずは選手として関わりたいですね。次こそは、金メダルをとるのが目標です。そして東京2020パラリンピックが障がいを理解してもらおうきっかけになってほしいと思います。障がいを抱っていてかわいそうとか



リオ2016大会

大変とか、そういう今までの考え方をなくしたいですね。

榎山 これは僕個人の考えですが、スポーツはわざわざ制限のある環境をつくり出すよね、サッカーだったら手を使わないとか。不自由な条件のもと工夫して最善を尽くすことをスポーツとすると、目が見えないとか耳が聞こえないとか、そんな障がいのある人生そのものがスポーツに思えるし、その主体である障がい者一人ひとりがアスリートという見方もできる気がします。

杉村 確かにそうですね。障がいがあっても、みんな夢とか目標とか生きがいを持って毎日生きていますし。障がい者と健常者ってそれほど違いがないのかもしれない。

榎山 皆がそんな考え方を持ったら、障がい者への理解や関わり方が変わり、障がい者自身の意識も変わるのかもしれない。そして、障がい者スポーツも、サッカーや野球のように、もっと多くの人が、本当にそのスポーツ

の楽しさや醍醐味を知ったうえで、応援してもらえようような気がしています。次の東京2020パラリンピックまでに、是非そうやってほしいです。

杉村 そうなれば、健常者と障がい者が隔たりなく暮らせる共生社会の実現にもつながっていきそうですね。

榎山 障がい者自身も自分の人生をポジティブに楽しんでほしいし、健常者も障がい者スポーツ自体を楽しんでほしいですね。

杉村 僕はポッチャの普及ももちろんですが、ポッチャを通して、障がい者でもこんなにすごいことができるんだということを世の中にどんどん発信していきたいと思っています。

インタビューを終えて



進行役のパラ満員委員 松尾さん(右)

パラリンピック競技大会の主役であるアスリートや大会を盛り上げるパフォーマーにとって、いかに「満員」が大きな影響力を持つかということを実感しました。様々な人によって満員となった会場はアスリートやパフォーマーのポジティブ要素を引き出し、それが満員の会場に還元され、さらに大きな力となる。すべての人に満員の会場という最高のステージを提供することが私たち組織委員会の使命なのだ、改めて確信しました!

「パラリンピックを満員にしたいんだ委員会」は

東京2020パラリンピックを満員にしたいというみんなの想いでできているバーチャルな委員会です

ファインダー越しに見たスポーツの祭典

パラリンピックを追いかけるキッカケとなった冬季大会

夏季・冬季のオリンピック種目を全て撮影した私はスポーツフォトグラファーとして自信に満ちていた。2010年バンクーバーでその考えは変わった。

現地新聞社の写真記者だった私は、オリンピック後のパラリンピックも併せて撮影することになった。

競技初日。誰もいない雪山に登り、自分だけの撮影ポジションを見つけてカメラを構えた。ファインダーを覗きスタートを待つ間は、オリンピックの撮影を終えた後の虚脱状態であった。

それは最高速度の新幹線を見送るような感覚。激しい息づかいで細かい雪をかき分け滑る一本の脚。鍛え上げられた筋肉を使って0.1秒でも速くしようと駆け抜けるその姿はパラリンピックを初めて体験する私を置き去りにしていく。

ハッと我に返り、力強くシャッターを切る。それは紛れもなくトップアスリートであり、私が今までに見たことのない「スポーツ」だった。

自信を打ち砕かれたと同時に、強い想いが込み上がった。誰よりもこのスポーツを追いかけてやろうと。



バンクーバー2010冬季大会

プロフィール 竹見 脩吾 (たけみ しゅうご)

東京2020組織委員会フォトグラファー / 1985年東京生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒。カナダ現地新聞社勤務を経て、スポーツフォトグラファーとして活動中。

Photo by Shugo Takemi



News
1

四者協議において組織委員会予算と その他経費、全体像(バージョン1)を発表

東京2020組織委員会は昨年12月21日(水)、IOC、東京都、政府とともに四者協議を開催し、東京2020大会の組織委員会予算とその他経費の全体像(バージョン1)を初めて明らかにしました。

この全体像は予算に関する議論の出発点であり、これを基に引き続き関係者との役割分担、計画の具体化、さらなるコストカット、将来への有効な投資等の視点に基づき、検討を進めてまいります。

詳細はこちら!

2020 大会予算 全体像 で検索
<https://tokyo2020.jp/jp/news/notice/20161221-01.html>

News
2

リオ2016大会のデブリーフィングが、 東京で開催されました



今回のデブリーフィングの運営に携わった、IOC、リオ2016関係者、東京2020組織委員会と協力会社の皆さん

デブリーフィングとは、今後行われる大会開催国の組織委員会に対して、大会運営のための知識を継承するためにIOCが主催する前大会の報告会です。

リオ2016大会のデブリーフィングは、昨年11月28日(月)~30日(水)の3日間にわたり東京で行われ、東京2020組織委員会を含む延べ600人が参加、リオ2016大会での具体的な経験や成果について、リオ2016組織委員会やIOC、IPC関係者からレクチャーを受けました。

詳細はこちら!

2016 デブリーフィング で検索
<https://tokyo2020.jp/jp/news/rio2016/20161130-01.html>

News
3

1月末までに延べ20,000人が参加。 ますます盛り上がるフラッグツアーに参加しよう!

オリンピック・パラリンピック旗が、東京都の各市町村を巡回するフラッグツアー。この1月末までに31ヶ所で開催、延べ20,000人以上と大変多くの皆様にご参加いただいています。昨年10月8日(土)に小笠原村では、なんと村民の半数の方が大集合しフラッグ歓迎イベントを盛り上げました。まだまだ続くフラッグツアー。今後は被災地を皮切りに、全国を巡回する予定です。最新の予定をチェックして、あなたの街のツアーに参加しよう!



小笠原村では地元野球チームの高橋亮介君(写真上段左)が、フラッグを受け取る大役を務めました。

詳細はこちら!

2020 フラッグツアー で検索
<http://flagtour.jp/>

News
4

東京2020公式オリジナル商品 「ジャパンプレミアム」 即日完売→追加生産決定

日本が誇る卓越した技と文化を世界に向けて発信するため、1月11日(水)より東京2020公式オリジナル商品「ジャパンプレミアム」の展開を開始。伝統工芸を採用した「東京染小紋風呂敷クロス」と「横浜捺染トートバッグ」の販売を開始し、大好評につき即日完売。追加生産を決定しました。

東京染小紋風呂敷クロスの製作現場を訪れる大会エンブレム作者の野老 朝雄さん



詳細はこちら!

2020 オンラインショップ で検索
<https://tokyo2020shop.jp/>

表紙の写真



(東京2020参画プログラムより)

- 1 「大学連携 学生のためのRio to Tokyo」。登壇した学生らと運営にあたった組織委員会メンバー。上智大学四谷キャンパスにて。2016年11月
- 2 「ザワメキアート展」。大きくカラフルな作品の迫力に釘付けになる。長野県ホクト文化ホールにて。2016年12月
- 3 「東京2020アイディアソンVol.1」。初めて観る車椅子バスケットボールに圧倒される参加者。彩の国くまがやドームにて。2016年11月
- 4 「小・中学校ポスター募集事業の公開授業」。東京2020大会に期待することを熱心に描く。福島県郡山市立行健中学校にて。2016年11月

東京2020組織委員会の最新ニュースは、<https://tokyo2020.jp/jp/news/> をご覧ください。

Photo by Tokyo 2020 / Uta Mukuo, Tokyo 2020 / Shugo Takemi, Tokyo 2020 / Ryo Ichikawa

The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Gold Partners



Tokyo 2020 Official Partners

